

1. 安全のために必ず守ること

- 据付の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
移設、修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告	据付は、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付工事をされ不備があると、故障や感電、火災等の原因になります。	据付工事は、この据付説明書に従い確実に行う。 据付に不備があると、感電、火災等の原因になります。
	据付は、重量に十分に耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従い施工する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
	配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。 接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。	お客様自身で移設はしない。 据付に不備があると感電、火災等の原因になります。 お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
	改造、修理は絶対しない。 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。	

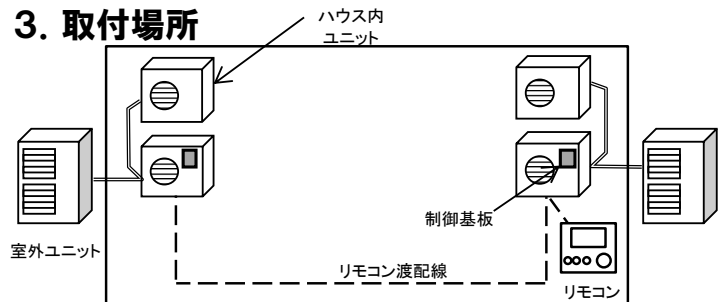
注意	可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。 変形、故障の原因になることがあります。
	特殊環境には、使用しない。 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりすることがあります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用すると感電、故障の原因になることがあります。
	配線は、張力がかからないように配線工事を行う。 断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。	配線は、電気容量に合った規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱、火災の原因になることがあります。
	配線引込口をパテで確実にシールする。 露、水、ゴミ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。	基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。 火災、故障の原因になることがあります。
	本機を水洗いしない。 感電、故障の原因になることがあります。	

2. 部品確認

(1) 冷暖切替ユニット本体… 1
(2) 取付ボルト …………… 4
(3) 据付説明書（本書） …………… 1

※端子台への配線、固定用のインシュロック等は現地手配です。

3. 取付場所



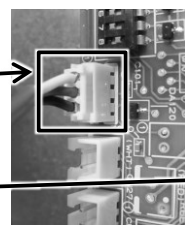
本製品は、リモコン線が接続されているハウス内ユニットすべてに冷暖切替ユニットを設置し、その制御基板にコネクタを接続してください。

4. 据付方法

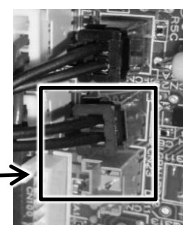
- (1) 冷暖切替ユニットをハウス内ユニットの制御基板カバーに取り付けます。



- (2) ハウス内ユニット電装BOX内制御基板のCN32端子に白色配線が上になるように3Pコネクタを取付け、CN20端子には赤コネクタを外して2Pコネクタ(白)を取付けてください。



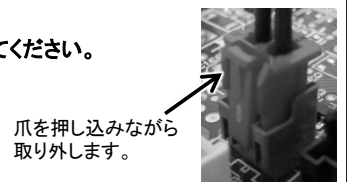
CN32端子に白色の線が上になるように3Pコネクタ(白)を付けます。



CN20 (赤)を取り外し、2Pコネクタ(白)に付け替えます。

注意

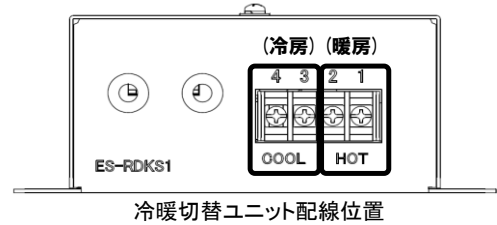
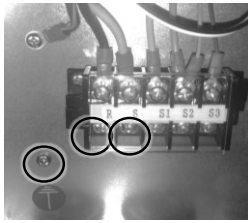
- CN20取り外しの際には、コネクタ本体を持ち、爪を押し込みながら取り外してください。
ケーブルを持って引っ張ると断線や破損の恐れがあります。
- コネクタには向きがありますので正しく接続してください。
無理に押し込むと破損します。
- 取付の際には、「カチッ」と手ごたえがあるまで差し込んでください。
取付が不十分な場合、脱落や動作不良の恐れがあります。



爪を押し込みながら取り外します。

(3) ハウス内ユニットの電源端子台のRとSに、本製品のY型端子(赤と白)を接続してください。

Y型端子(緑)はアース(⊕)に接続してください



冷暖切替ユニット配線位置

(4) 外部制御機器からの配線を接続します(右上図)。

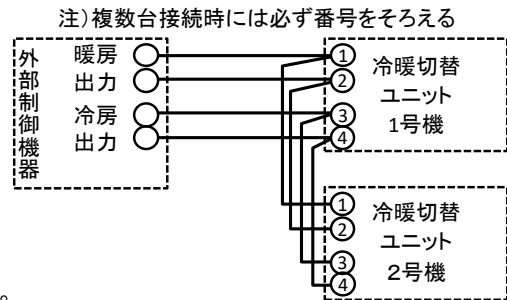
○暖房接点: 1番と2番の端子台に配線(無電圧A接点)

○冷房接点: 3番と4番の端子台に配線(無電圧A接点)

※暖房接点のみ、冷房接点のみ、暖房・冷房両方、それぞれ可能です。

※エラーとなる恐れがあるので、両接点が同時ONにならないように制御してください。

※複数台へ接続する場合は必ず番号(極性)をそろえてください(右図)。



注) 複数台接続時には必ず番号をそろえる

(5) ①のスイッチをOFFにした状態で、ぐっぴーバズーカに通電します。

(6) リモコンのサービスメニューから設定変更をおこないます(ツインタイプのみ)。

<設定方法>

通電後、運転停止時にリモコンで以下の操作を行い設定してください。

メニューキー押下 → 「サービス」選択 → サービスパスワード入力(初期:9999)

→ 「機能選択」選択(画面①) → 機能選択画面(画面②)で、設定する冷媒アドレスを選択

→ 号機で「共通」を選択 → モード選択画面で「モード2」を「1」に変更する(画面③)

→ 変更後、決定ボタン押下で設定変更 → 「戻る」を2回押して「機能選択」まで戻る(画面①まで戻る)

→ 再度「機能選択」からモード選択画面まで行き、「モード2」を今度は「2」に変更する(画面③)

モード2 設定番号	検知位置	サーモON/OFF判定方法
1	同時運転 ハウス内ユニット平均	同一冷媒系統内にあるハウス内ユニットのサーモ (リモートセンサーの場合も含む)で検知した温度の平均値で判定
2	リモコン接続 ハウス内ユニット固定	リモコン(渡配線を含む)を接続したハウス内ユニットのサーモ (リモートセンサーの場合も含む)で検知した温度のみで判定
3	リモコン内蔵センサー	リモコンに内蔵されているサーモで検知した温度のみで判定

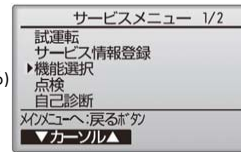
●ぐっぴーバズーカ「ツインタイプ」の場合、既に「モード2」が「2」に設定されていても、一度「1」に設定した後、再度「2」に設定してください。「シングルタイプ」は上記(6)の作業は不要です。

●1台のリモコンでグループ制御を行っている場合、全ての冷媒アドレスで設定を行ってください。

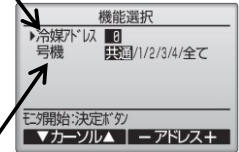
(例:ぐっぴーバズーカ4セットを1台のリモコンでグループ制御している場合、冷媒アドレス0、1、2、3それぞれに設定を行ってください。)

アドレス選択

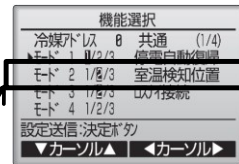
(リモコンが接続されている冷媒アドレスが選択できます)



画面①



画面②
(「共通」を選択)



画面③

(7) リモコンの「F1」ボタンを何度か押して冷暖房モードを「自動」にします。

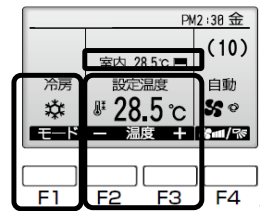
(8) リモコンの「F2」「F3」ボタンを操作し、温度設定を「20°C」にします。

(9) ①のスイッチをONにし、冷暖切替ユニットの作動を有効にします。

(同時にリモコン操作が無効になり、リモコン画面に「」が表示されます)

(10) 室内温度表示が無意味になるため、現在の室内温度が表示されない表示方法に変更します。

メニューキー押下 → 「初期設定」選択 → 「メイン画面表示設定」選択 → 「簡易画面」選択



(7) (8)

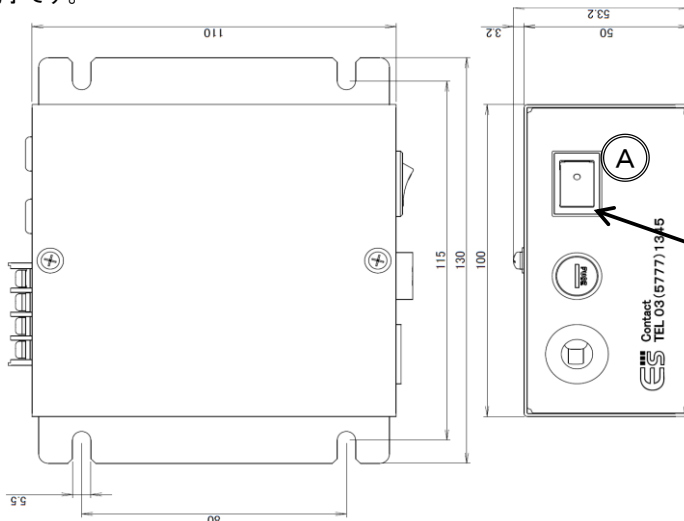
※上記作業中にP1エラーが表示される場合がありますが、作業後にエラー表示が消えれば不具合ではありません。

※集中管理中は「風量」のみリモコンで変更可。その他のリモコン操作はしないでください。

これで準備完了です。

5. 仕様

<外形図>



使用環境:
温度 -20~65°C
湿度 30~90%RH(結露なきこと)

※ ①スイッチはリモコン操作の有効・無効を設定します。冷暖切替ユニットで冷暖切替する場合はONにしておいてください。(OFFのままだと冷暖切替はできません)



販売元
株式会社 イース

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-3-13
西日本支店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-5-10
九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-35
中部営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-19-5

TEL 03-6273-3356
TEL 06-4862-6775
TEL 092-260-9900
TEL 052-253-8032